

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：河川環境課  
 担当名：ダム管理担当  
 内線：5116

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
PN114	ダム等施設管理費	一般会計	土木費	河川費	河川総務費	ダム等施設管理費		
事業期間	昭和61年度～	根拠法令	河川法第17条、第66条		針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール 6, 11, 13	
				分野施策	0103 治水・治山対策の推進		SDGsターゲット 6-4, 11-b, 13-1	
<p>1 事業の概要</p> <p>有間ダム、合角ダム、権現堂調節池の適切な管理・運用を継続し、洪水調節機能や利水の安定供給など良好なダム機能を維持することで県民へ安心安全を提供する。令和4年度は、点検等の維持管理業務を行うとともに、長寿命化計画に基づいた設備更新を実施し施設の延命化を図る。</p> <p>また、引き続き有間ダム堆砂対策を実施する。</p> <p>ア 定期点検等委託費 271,049千円                      イ 工事費 441,700千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア 定期点検等委託費 各設備の保守点検、観測業務等に係る委託料 271,049千円                      イ 工事費 設備更新工事 447,700千円</p> <p>(2) 事業計画                      ア 定期点検等委託費 長寿命化計画に基づき、土木、機械、電気設備の保守点検委託を実施する。                      イ ダム設備老朽化対策 長寿命化計画に基づき、耐用年数が経過しているダム設備の更新工事を実施する。</p> <p>(3) 事業効果                      ア 施設の不良によるダムの機能低下、それに起因する災害や事故を未然に防ぐことで、より適切かつ効果的にダムを運営することができる。                      イ 洪水調節容量内に堆積している土砂を搬出することで、ダムの洪水調節機能低下を防ぐ。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      利水者との共同管理施設であるため、事業の実施については、関係団体と連携を密にしている。</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) 有間 (県66.4%・企業局14.4%・飯能市19.2%)                      (2) 合角 (県66.5%・企業局29.6%・寄居町2.0%、深谷市0.7%・小鹿野町1.2%)                      (3) 権現堂 (県63.9%・企業局31.0%・茨城県5.1%)</p>								
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>河川等事業債                      充当率 90% (通常分90% 財対分0%)                      交付税措置 なし</p>								
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.1人=10,450千円</p>								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		諸収入	県債					
決定額	712,749	247,161	328,000				137,588	△3,966
前年額	716,715	247,685	191,000				278,030	

## 事業内訳書

事業名	ダム等施設管理費		
単位事業名	定期点検等委託費	予算額	271,049千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	271,049	47,551	保守点検、観測業務等
合計	271,049	47,551	

単位事業名	工事費	予算額	441,700千円
-------	-----	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	441,700	14,610	設備更新工事
合計	441,700	14,610	